

入山禁止のお知らせ 山菜採りなど注意

入山禁止・とめ山などの表示がある山林などに無断で入って山菜などを採らないようにしてください。町内にも入山禁止の区域がありますのでご注意ください。

恩給欠格者、戦後強制抑留者、引揚者の皆さんへ

独立行政法人平和祈念事業特別基金では、旧軍人等で恩給等を受けていない恩給欠格者や、戦後、ソ連やモンゴルに強制抑留された人、終戦に伴い日本以外の地域から引揚げてきた人の「本人」に、あらためて慰藉の念を表すため、内閣総理大臣名の『特別慰労品』を贈呈しています。

過去に内閣総理大臣名の書状等を受けた人、書状等の請求をしなかった人も対象です。請求書は役場健康福祉課の窓口にあります。

請求期間は、平成21年3月31日までです。

資格要件など問合せ先 平和祈念事業特別基金(電話0120・234・933)

ホームページアドレス
<http://www.heiwa.go.jp>

退職金づくりをサポート 「中退共」へ加入を

中退共制度(中小企業退職金共済制度)は、退職金制度をもつことが難しい中小企業に、中小企業の相互共済と国の援助で退職金制度を確立することを目的としてつくられた国の制度です。

■中退共制度の特色

- 国の制度なので安全・確実・有利です
- 適格退職年金制度からの移行先です
- 掛金を納めるだけで企業の実態にあった退職金制度を手軽にもつことができます
- 掛金の一部を国が助成します

○掛金は税法上、損金または必要経費として全額非課税になります

○過去の勤務期間通算や、企業間を転職した場合などの通算ができます

■掛金の種類
月額5000円から3万円までの16種類です。

短時間労働者(1週間の所定労働時間が通常の従業員より短く、かつ30時間未満の従業員)は、2000円、3000円、4000円の特例掛金でも加入できます。

■加入の手続き

所定の申込書に記入・押印のうえ、最寄りの金融機関または委託事業主団体へ申し込んでください。

問合せ 中小企業退職金共済事業本部(〒105・8077 東京都港区芝公園1-7-6 退職金機構ビル、電話03・3436・0151)

ホームページアドレス
<http://chutaikyō.taisyokuin.go.jp>

2007 田んぼの学校 参加者募集!

近年、「グリーン・ツーリズム」などの、都市と農村の交流が盛んになっています。また、「食」「自分自身の生き方」などへの関心も寄せられるようになりました。

そこで、日野高等学校では昨年に引き続き自然観察などを含めたお米づくり体験イベント「田んぼの学校」を企画しました。農業に触れることが少なくなった今、皆で汗を流しながらお米づくりを通し、農業・土・自然・地域に触れ、ゆったりと過ごし「やすらぎ」や「うるおい」を通して「癒し」を感じていただきたいと思います。

■日時・内容

年間6回程度、第4土曜日に開く予定です。

第1回：5月26日(土)…田植え

第2回：6月23日(土)…水田除草

第3回：7月28日(土)…草刈り

第4回：8月25日(土)…稲の観察

第5回：9月22日(土)…稲刈り

第6回：10月中旬…収穫祭

時間はいずれも午前9時～お昼くらいまで

■場 所

日野高等学校実習水田

■交通手段

各自でお願いします

■参加費

無料

■準備品

長靴、サンダル、タオル、帽子、着替えなど
5月18日(金)までに、電話またはFAXで下記までお申込みください。

■申込み先

日野高等学校黒坂施設

田んぼの学校担当 林原美幸

(電話 74-0011、FAX 74-0012)

お元気ですか 日野病院です

病院長のひとりごと

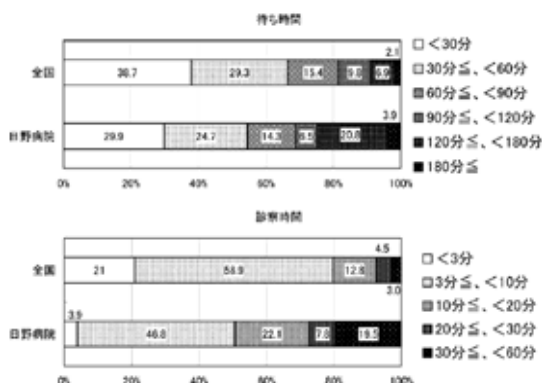
― 外来での待ち時間について ―



日野病院長 榎田 豊

日野町のご厚意でこのコーナーが始まって以来、今回が3回目となりました。これから数回は、病院長の立場から日野病院の現状や課題、さらには将来展望などについて述べさせていただきます。

さて、以前より投書箱を通じて病院に寄せられる苦情で一番多いものが、「外来での待ち時間が長く、苦痛に感じる」というものです。その対策として私どもは、診察の時間予約制の導入、診察中の患者さんの受付番号表示、自動再来受付機の設置、急患あるいは急変患者対応時のアナウンスなどを実施してきました。しかし、本年1月に構成3町で実施したアンケート調査でも、住民の皆さまから同じような苦情を多くいただいております。この問題の克服がいかに難しいかを痛感して



います。

ところで、日野病院での待ち時間は実際どのくらいなのでしょう。平成17年5月から6月にかけて行った私どもの調査では、全体の待ち時間は平均93分(約1時間30分)であり、その大部分は診察前のものでした(約1時間20分)。日野病院の診察前の待ち時間を、厚生労働省の「平成11年受療行動調査の概要」に記載されている全国の病院の待ち時間と比較してみました。図の上に示しまし

たように、全国の病院の待ち時間は60分未満が68%、60分以上が32%でした。一方、日野病院の場合には60分未満が55%、60分以上が45%であり、全国の病院に比較して長時間待つ患者さんの割合が若干多くなっていました。

この結果は、一見日野病院の待ち時間短縮に対する努力不足を意味しているようですが、そうとは言い切れません。図の下は日野病院と、同じく「平成11年受療行動調査の概要」に記載されている全国の病院で診察時間を比較したものです。

全国の病院の場合、外来患者さんの80%は10分未満であり、10分以上が20%でした。一方、日野病院では10分未満が50%、10分以上が50%であり、診察時間の長い患者さんの割合は明らかに全国の病院より多くなっていました。

診察時間と待ち時間はいわば二律背反の関係にあることから、日野病院における待ち時間の短縮は一朝一夕には解決し得ない問題であると言わざるを得ません。従って、現在、私どもはむしろ待ち時間が長引いたために生じる不快感の解消を当面の目標としています。具体的には、本年3月から診察医ごとに診察の順番を表示するようにしました。また、お気づきの方もあると思いま

すが、外来ホールでのBGM放送を開始しました。さらに、予測待ち時間の表示、コンシェルジュ機能の強化なども考えています。

日ごろ日野病院をご利用いただいている患者さんには待ち時間の問題で多大なご迷惑をお掛けしており、この場をお借りして心からおわび申し上げます。私どもは今後ともこの問題に積極的に取り組んでいく所存ですので、どうぞご理解の程お願いいたします。

■ 5月12日は「看護の日」

看護師と一緒に看護体験や病院食試食など、看護体験してみませんか！

日時 5月12日(土)
午前9時～午後0時30分頃
問合せ 日野病院看護局(電話 72-0351)
影山または近藤まで

行政相談委員に山本さんを再委嘱



4月1日付で、山本武史さん(下黒坂)が行政相談委員に再委嘱されました。

行政相談委員は、総務大臣が、社会的信望があり、行政運営の改善に熱意がある民間有識者の中から委嘱しているもので、その仕事は、国の行政に対する苦

情などの相談窓口になり、相談者への助言や関係行政機関に対する通知などを行い、苦情などの解決を図っていくことです。

なお、山本委員は、定期的に行政相談所を開設し、皆さんからの相談に応じています。

相談は無料で、秘密は守られますのでお気軽にご相談ください。

■行政相談所は、毎月1回、山村開発センターと町公民館で交互に開かれます。次回は5月9日(水)午前9時～正午まで、会場は山村開発センターです。